

平成30年 5月市長定例記者会見

日 時：平成30年4月26日（木） 午後4時～4時30分

場 所：射水市役所会議室401

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、チューリップテレビ、射水ケーブルネットワーク、庄東タイムス

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、総務課長、農林水産課係長、港湾・観光課長、商工企業立地課長、未来創造課長（司会）

質疑応答の概要

Q1 . 津波ハザードマップは、県内の自治体の中で何番目の更新なのか伺いたい。また、世界で最も美しい湾クラブの総会が来年の10月に県内開催が決定し、富山湾のPRを世界に発信していく場になるかと思うが市長の意気込みを伺いたい。

A1 . まず、津波ハザードマップについての質問であるが、県の新たなシミュレーション結果が示され、ハザードマップを更新した。県内で何番目かということは把握していないが、それぞれの自治体においてハザードマップを作成している場合には、恐らく新たなデータを基に射水市と同様に更新をした、または、今後されると考える。また、美しい湾クラブについては、総会が来年富山で開催されることが決定した。射水市としては、海王丸や新湊大橋、また、その奥に立山連峰を望むすばらしい景観を、世界各国から来られる関係者の方にぜひ見ていただき、富山湾の美しさやすばらしさを実感していただく取組に繋げていければと考える。県と連携をしながら今後具体的にどのような事業をするのか協議をしていくことになるが、射水としてもこの機会に世界に対してすばらしい富山湾、そして、すばらしい景観が望める美しい射水ベイエリアをPRできる機会にしたいと考えている。意気込みという点では、ぜひとも頑張っていきたいと、考えている。